

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

| | |
|---|------|
| (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況 | p. 2 |
| ① 学生確保の見通し | p. 2 |
| ア 定員充足の見込み | p. 2 |
| イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 | p. 2 |
| ② 学生確保に向けた具体的な取組状況 | p. 3 |
| (2) 人材需要の動向等社会の要請 | p. 4 |
| ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） | p. 4 |
| ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 | p. 4 |

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

本学は、平成22年度から令和3年度までの期限付きで医学部医学科の入学定員を105名から112名に増員していたところであるが、引き続き、この措置を令和4年度まで延長する。

医学部医学科の入学定員112名の内訳は、1年次入学時から分属が決定している学部別入試枠が97名（令和3年度までは102名）、文系又は理系の枠で入学し2年次進級時に本人の希望と1年次の成績により分属が決定する総合入試枠【資料1】が10名（令和3年度までは5名）、2年次編入枠が5名である。

いずれの枠においても、常に定員を上回る志願者がいることから、安定的に定員を充足することができる見込みである。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

前項アで挙げた募集人員の枠ごとに定員充足の根拠となるデータを示す。

【学部別入試】

学部別入試では、一般選抜、総合型選抜、帰国子女入試及び私費外国人留学生（学部）入試により学生募集を行っており、募集人員は合計で102名である。

これらの入試区分を合計した、学部別入試の過去5年間の志願倍率は3倍強であり、また、入学者数は常に募集人員を満たしていることから、安定的に学生の確保を図ることができるものと判断している【表1】。

表1 学部別入試の入学状況

| 年度 | 募集人員 | 志願者数 | 志願倍率 | 入学者数 | 充足率 |
|-----|------|------|------|------|------|
| H29 | 102 | 356 | 3.49 | 102 | 1.00 |
| H30 | 102 | 359 | 3.51 | 102 | 1.00 |
| R1 | 102 | 317 | 3.10 | 102 | 1.00 |
| R2 | 102 | 377 | 3.69 | 102 | 1.00 |
| R3 | 102 | 351 | 3.44 | 102 | 1.00 |
| 平均 | 102 | 352 | 3.45 | 102 | 1.00 |

【総合入試】

総合入試（理系）では、一般選抜及び国際総合入試【資料2】により学生募集を行っており、募集人員は合計で1,027名である。

これらの入試区分を合計した、総合入試の過去5年間の志願倍率は3倍弱であり、また、入学者数は常に募集人員を満たしていることから、安定的に学生の確保を図ることができるものと判断している【表2】。

なお、毎年度、総合入試入学者のうち5名が2年次進級時に医学部医学科に所属される。

表2 総合入試（理系）の入学状況

| 年度 | 募集人員 | 志願者数 | 志願倍率 | 入学者数 | 充足率 |
|-----|-------|---------|------|-------|------|
| H29 | 1,027 | 2,808 | 2.73 | 1,077 | 1.04 |
| H30 | 1,027 | 2,987 | 2.90 | 1,073 | 1.04 |
| R1 | 1,027 | 2,969 | 2.89 | 1,042 | 1.01 |
| R2 | 1,027 | 2,705 | 2.63 | 1,036 | 1.00 |
| R3 | 1,027 | 2,587 | 2.51 | 1,032 | 1.00 |
| 平均 | 1,027 | 2,811.2 | 2.73 | 1,052 | 1.02 |

【2年次編入】

2年次編入の過去5年間の志願倍率は平均で16.2倍であり、また、入学者数は常に募集人員を満たしていることから、安定的に学生の確保を図ることができるものと判断している【表3】。

表3 2年次編入の入学状況

| 年度 | 募集人員 | 志願者数 | 志願倍率 | 入学者数 | 充足率 |
|-----|------|------|------|------|------|
| H29 | 5 | 98 | 19.6 | 5 | 1.00 |
| H30 | 5 | 75 | 15.0 | 5 | 1.00 |
| R1 | 5 | 94 | 18.8 | 5 | 1.00 |
| R2 | 5 | 75 | 15.0 | 5 | 1.00 |
| R3 | 5 | 63 | 12.6 | 5 | 1.00 |
| 平均 | 5 | 81 | 16.2 | 5 | 1.00 |

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

例年8月にオープンキャンパスを実施しており、全国から多くの高校生や保護者が参加しているところであるが、その際、在学生との質疑応答や学部紹介DVDの上映等により受験希望者に対する情報提供を行っている（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインによる開催）また、北海道外でも進学相談会を開催し、受験生の確保に努めている（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で現地での開催が難しく、急遽オンライン形式にて各学部等による個別相談等を行い、延べ359名が参加した）。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

世界をリードする先進的医学研究を推進し、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人を育てることにより、人類の健康と福祉に貢献するという理念の下、教育目標と行動目標を以下のとおり定めている。

○教育目標

広範な医学知識、高い倫理観、豊かな人間性、国際的視野を備え、医学の進歩と医療の実践・発展に寄与する医師・医学研究者を養成する。

○行動目標

1. 医師・医学研究者として活躍するための基礎をなす医学知識・技術を身につける。
2. 生涯にわたり自ら学ぶ習慣と態度を身につける。
3. 科学的な思考・判断能力と探究心に基づく創造性を養う。
4. 医師・医学研究者に要求される高い倫理観と豊かな人間性を培う。
5. 国際交流の重要性を理解し、それに必要な語学力、医学知識、教養を身につける。
6. 医療におけるチームワークの重要性とそこでの医師の役割を理解する。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

令和元年に厚生労働省が公表した「医師・歯科医師・薬剤師統計」【資料3】によれば、平成30年12月31日時点の北海道における人口10万人に対する医師の総数は254.0人（全国平均258.8人）、医療施設に従事している医師数は243.1人（全国平均246.7人）であり、いずれも全国平均を下回っている状況である。また、「都道府県別診療科ごとの将来必要な医師数の見通しについて」（平成31年3月22日 医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会（第30回）資料）【資料4】により、今後も北海道においては医療従事者の需要が見込まれていることが示されている。

また、平成30年7月に、教育効果を検証し、教育課程等の改善に役立てることを目的として、診療参加型コア科臨床実習において学生の受入れに協力いただいている北海道内の病院を対象に、本学医学部医学科卒業生に関するアンケートを実施した【資料5】。「北海道大学医学部医学科の卒業生の以下の能力は、総じてどのように感じますか？」という問いに対して、ほとんどの能力について、概ね6割程度「大変優れている」又は「やや優れている」との回答が得られたことから、その能力が高く評価されていることが見受けられる【資料6】。

以上より、上記①が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることは明らかであると判断している。

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

- 資料 1 北海道大学 総合入試案内
- 資料 2 令和 4 (2022) 年度北海道大学国際総合入試基本方針
- 資料 3 平成 30 (2018) 年 医師・歯科医師・薬剤師統計の概況 (関係箇所抜粋)
- 資料 4 都道府県別診療科ごとの将来必要な医師数の見通しについて
(厚生労働省 医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会 (第 30 回) 資料)
- 資料 5 北海道大学医学部医学科卒業生に関するアンケート (対象: 学外病院) アンケート用紙
- 資料 6 北海道大学医学部医学科卒業生に関するアンケート (対象: 学外病院) 集計結果



北海道大学



総合入試案内

北海道大学アドミッションセンター

総合入試を導入した理由

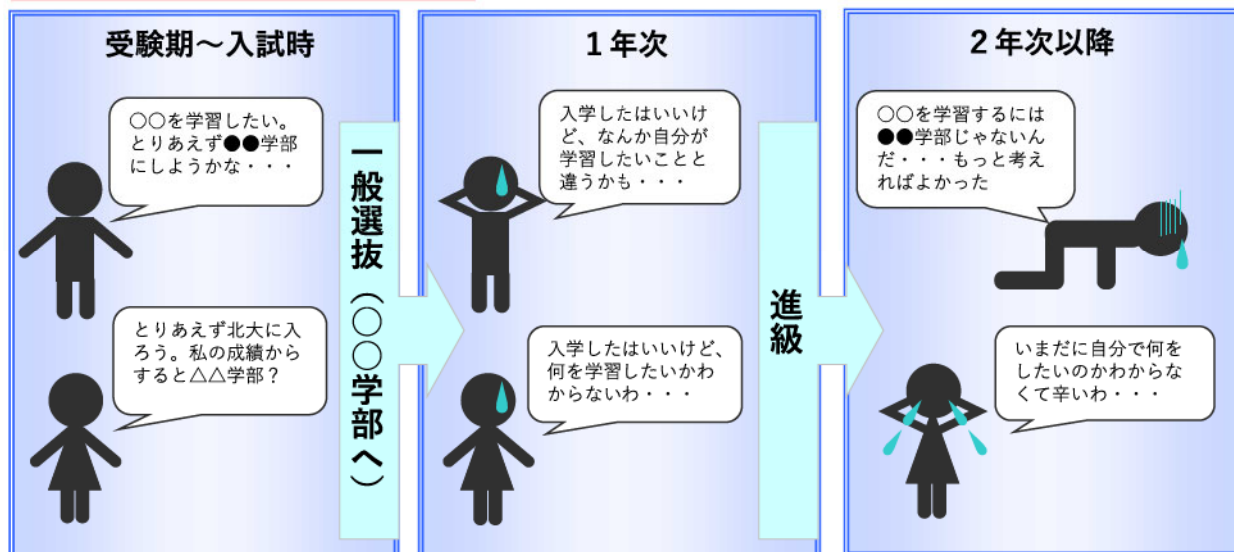


未成熟な学部・学科選択によるミスマッチの解消

未成熟な学部・学科選択によるミスマッチの解消(1)



受験期に「学部」を決める方式



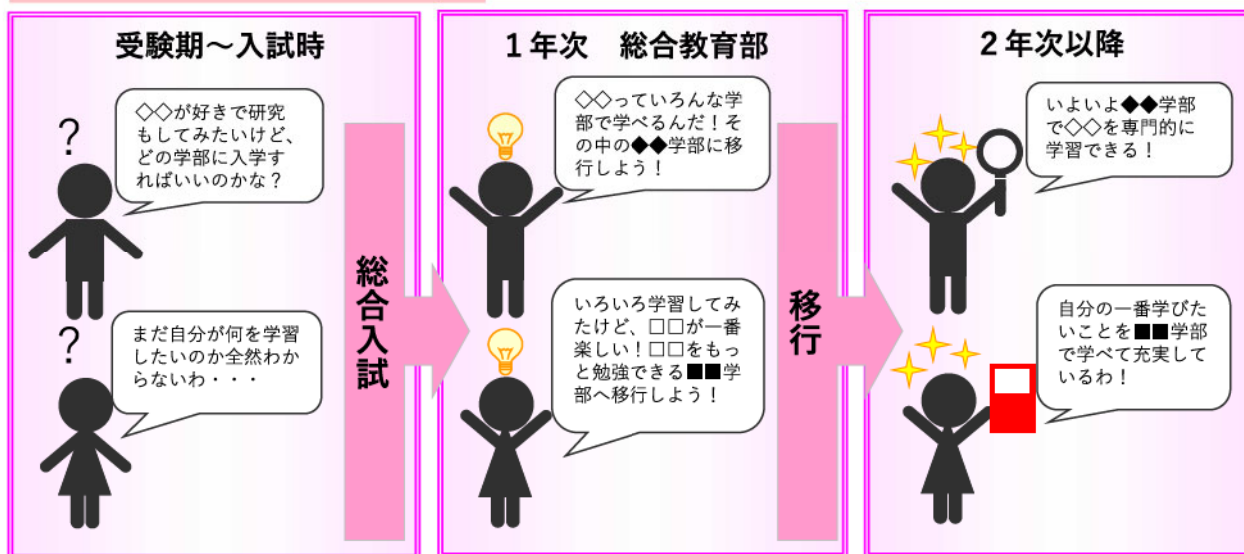
- ・ とりあえず北大に入学
- ・ 自分が学びたいことと所属学部で学べる内容が合わない
- ・ 本当に自分が学びたいことを見出せない

悩む やる気低下
後悔 やめたい

未成熟な学部・学科選択によるミスマッチの解消(2)



入学後に「学部」を決める方式



- ・ 意欲的に学業・課外活動に取り組み充実した学生生活
- ・ 十分に考え、納得した上で学部等を選択し移行
- ・ 入学後に自分の学びたいことや将来について熟考できる

満足・将来への希望
目標達成・充実感



未成熟な学部・学科選択によるミスマッチの解消

学問分野の細分化・融合化への対応

5

学問分野の細分化・融合化への対応(1)



生物を学ぶにはどの学部がいいのかな？

?



生物を学べる学部 (主な学部)



学問分野の細分化・融合化

同じ学部でも学科によって学ぶ内容が大きく異なる

異なる学部でも同じような内容が学べる

1年次に上記のことを確認した上で移行する学部・学科の検討が可能

6

学問分野の細分化・融合化への対応(2)



～平成22
年度

学部別入試合格者

経済学部

理学部

薬学部

工学部

農学部

水産学部

2年進級時～3年1学期終了時に
成績上位者から
志望の学科・コースに所属

同じ学部でも学科によって
学ぶ内容が大きく異なるため、
成績によっては志望しない
分野に所属されることも

平成23
年度～

総合入試合格者

総合入試
文系

総合入試
理系

1年次の成績確定後、
成績上位者から
志望の学部・学科・コースに所属

異なる学部でも同じような
内容が学べるため、
選択肢が広がる

7

総合入試を導入した理由



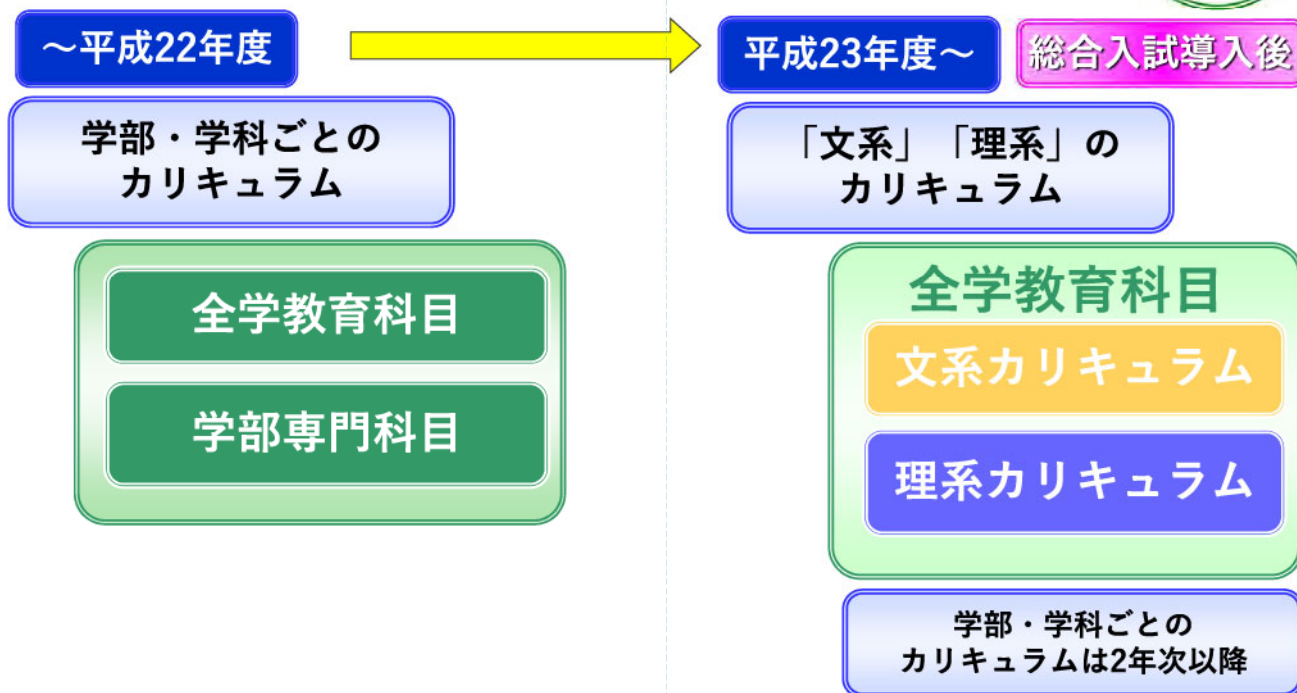
未成熟な学部・学科選択によるミスマッチの解消

学問分野の細分化・融合化への対応

初年次教育における共通教育の充実

8

初年次教育における共通教育の充実



北海道大学の募集単位の概念図



総合入試の試験科目と配点



| | 大学入学共通テスト試験科目 | 本学個別学力検査等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---|---|------------|-----------|------|------|--------|-----|------|--|------|------------|-----------|------|------|--|------|--------|-----|------|------|--|------|--------|-----|------|------|--|------|--------|-----|------|------|--|------|------------|-----------|
| 文系 | 5(6)教科8科目 (300点) 国語 (60点) 地理歴史・公民 (80点) 数学2科目 (60点) 理科2科目 (40点) 外国語 (60点) | 合計 450点 国語 (150点) 地理歴史又は数学 (150点) 外国語 (150点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5教科7科目 (300点) 国語 (80点) 地理歴史又は公民 (40点) 数学2科目 (60点) 理科2科目 (60点) 外国語 (60点) | 合計 450点 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>選抜群</th> <th>教科・科目</th> <th>数 学</th> <th>主要理科</th> <th>その他の理科</th> <th>外国語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数学重点</td> <td></td> <td>200点</td> <td>(2科目) 100点</td> <td>(50点、50点)</td> <td>150点</td> </tr> <tr> <td>物理重点</td> <td></td> <td>150点</td> <td>物理100点</td> <td>50点</td> <td>150点</td> </tr> <tr> <td>化学重点</td> <td></td> <td>150点</td> <td>化学100点</td> <td>50点</td> <td>150点</td> </tr> <tr> <td>生物重点</td> <td></td> <td>150点</td> <td>生物100点</td> <td>50点</td> <td>150点</td> </tr> <tr> <td>総合科学</td> <td></td> <td>150点</td> <td>(2科目) 150点</td> <td>(75点、75点)</td> <td>150点</td> </tr> </tbody> </table> | 選抜群 | 教科・科目 | 数 学 | 主要理科 | その他の理科 | 外国語 | 数学重点 | | 200点 | (2科目) 100点 | (50点、50点) | 150点 | 物理重点 | | 150点 | 物理100点 | 50点 | 150点 | 化学重点 | | 150点 | 化学100点 | 50点 | 150点 | 生物重点 | | 150点 | 生物100点 | 50点 | 150点 | 総合科学 | | 150点 | (2科目) 150点 | (75点、75点) |
| 選抜群 | 教科・科目 | 数 学 | 主要理科 | その他の理科 | 外国語 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数学重点 | | 200点 | (2科目) 100点 | (50点、50点) | 150点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 物理重点 | | 150点 | 物理100点 | 50点 | 150点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 化学重点 | | 150点 | 化学100点 | 50点 | 150点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生物重点 | | 150点 | 生物100点 | 50点 | 150点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総合科学 | | 150点 | (2科目) 150点 | (75点、75点) | 150点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

選抜群とは？

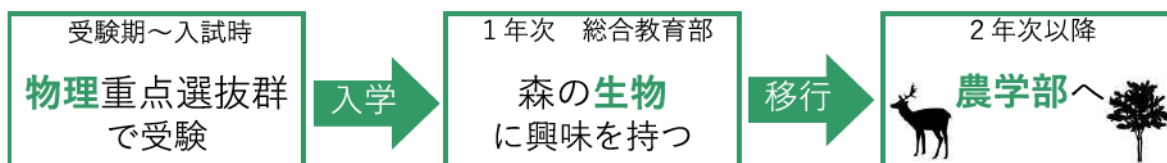
理系の選抜群とは・・・



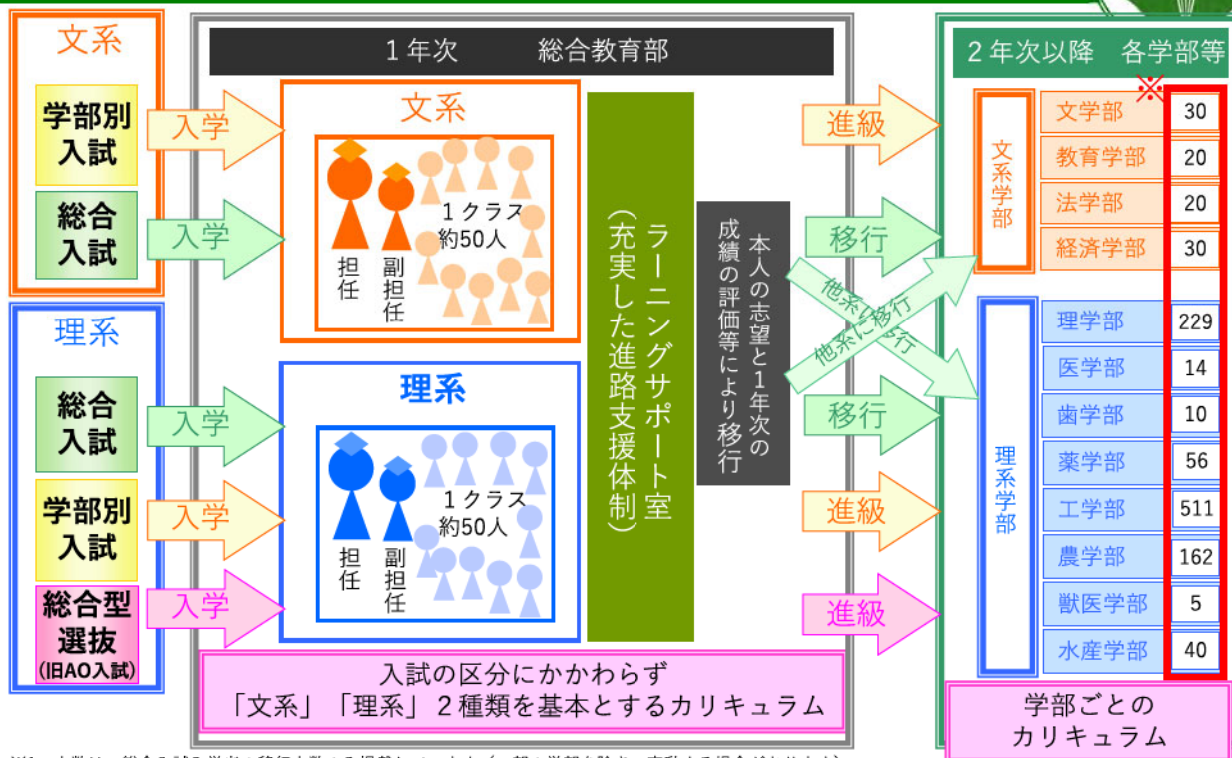
特定の科目に、より高い配点を行うことで得意科目を活かす入試方式

| | 教科・科目 | 数 学 | 主要理科 | その他の理科 | 外国語 |
|------------------------------|---------|------|------------|-----------|------|
| 数学の配点を他の教科より重点的に配点 | 数学重点選抜群 | 200点 | (2科目) 100点 | (50点、50点) | 150点 |
| 主要理科のそれぞれの配点を他の理科の科目より重点的に配点 | 物理重点選抜群 | 150点 | 物理100点 | 50点 | 150点 |
| | 化学重点選抜群 | 150点 | 化学100点 | 50点 | 150点 |
| | 生物重点選抜群 | 150点 | 生物100点 | 50点 | 150点 |
| 各教科の配点を均等に配点 | 総合科学選抜群 | 150点 | (2科目) 150点 | (75点、75点) | 150点 |

選抜群は入試の区分。
 選択科目やどの選抜群で受験したかということで
入学後の学部・学科選択の幅を狭めることはありません。



総合教育部について



※1 人数は、総合入試入学者の移行人数のみ掲載しています（一部の学部を除き、変動する場合があります）。
 ※2 学部別入試及び総合型選抜による入学者は、2年次進級時に学部を変更することはできません。

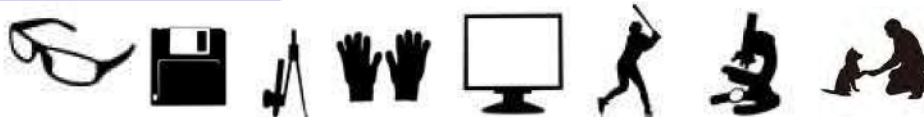
充実した教養教育・基礎教育



総合教育部に所属する1年次は、全学教育科目を履修

コアカリキュラム

| | | | |
|------|-------------------------|---|--------|
| 教養科目 | 一般教育演習 (フレッシュマンセミナー) | 少人数のゼミナール形式、牧場、練習船等を利用した合宿形式の演習も含む。 | 約170科目 |
| | 総合科目 | 複数の学問分野を融合した統合講義。1テーマにつき複数の教員が講義を行うことも。 | 約 60科目 |
| | 主題別科目 | 最良の専門家による最良の教養教育。哲学、歴史、芸術、文学、法学、科学、技術等 | 約170科目 |
| | 外国語科目 外国語演習 | 英語を基本とし、初習外国語を履修。演習では第三、第四外国語の履修も可能。 | 約720科目 |
| | 共通科目 | 体育学、情報学、統計学 インターンシップ（キャリアに関連した就業体験） | 約110科目 |
| 基礎科目 | | 専門教育の基礎となる科目。主に理系基礎科目と文系基礎科目。実験も行われる。 | 約450科目 |



充実した学修支援体制

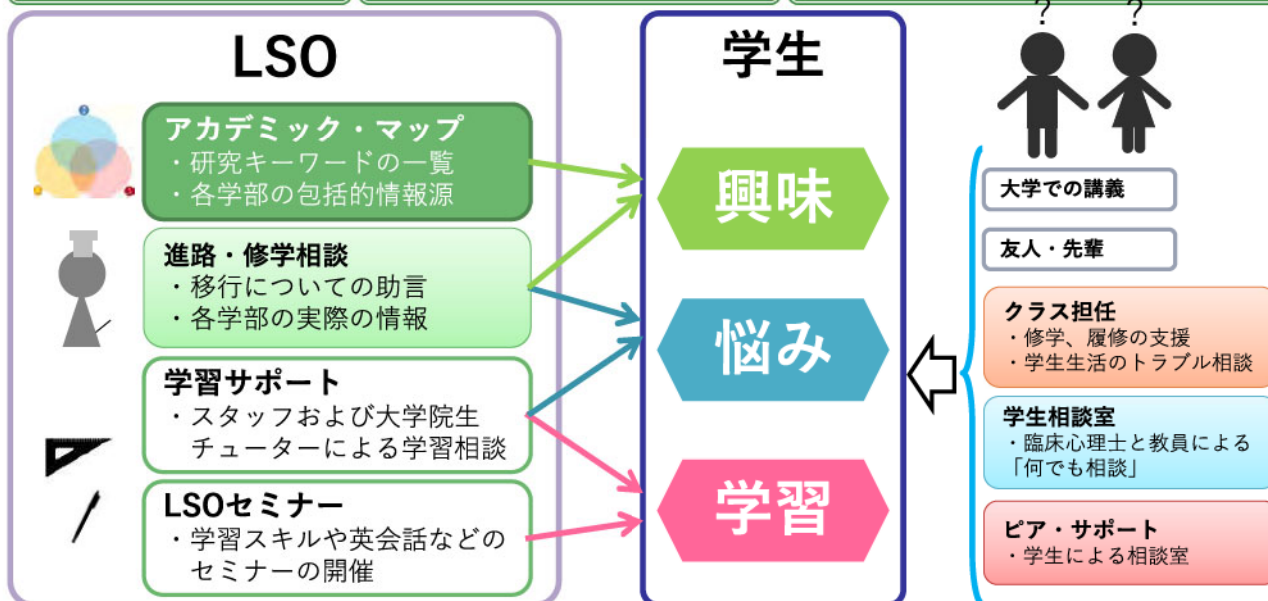


ラーニングサポート室 (LSO)

進路や履修の相談

講義外での学習サポート

学習スキルに関するセミナー



15

総合入試入学者の学部・学科等別定員

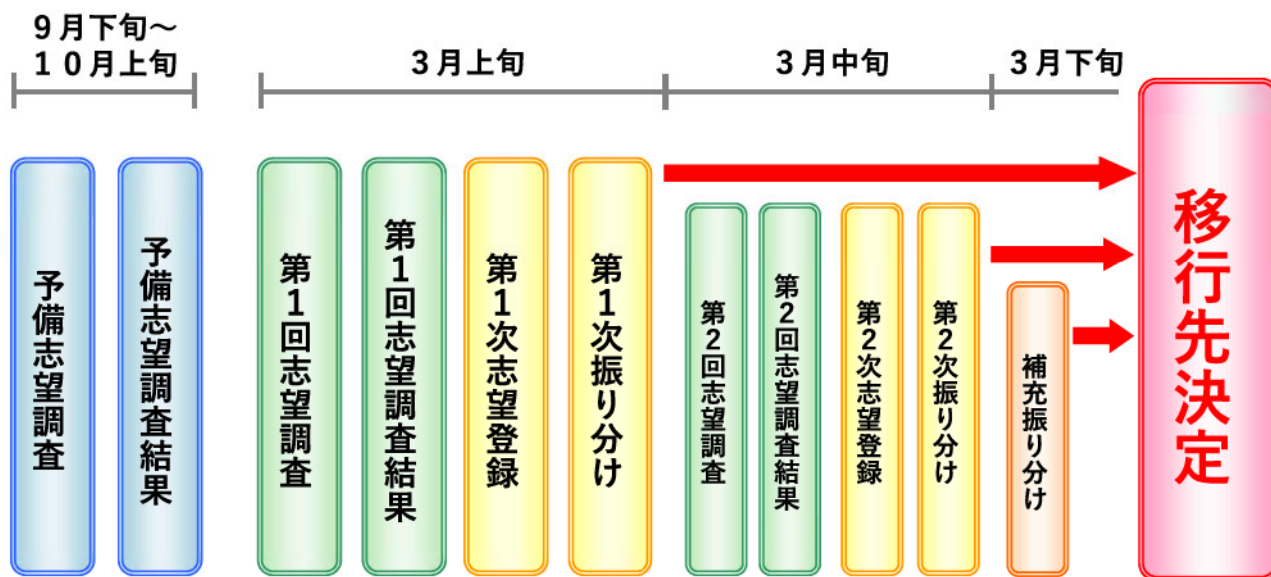


| 学部・系 | 学科 (学科目等) | 定員 | 学部・系 | 学科 (学科目等) | 定員 | |
|-----------|--------------|-------------|---------------|-----------------|-------------|------|
| | 文学部 | 30 | | 応用理工系学科 | 122 | |
| | 教育学部 | 20 | | (応用物理学コース) | (39) | |
| | 法学部 | 20 | | (応用化学コース) | (55) | |
| | 経済学部 | 30 | | (応用マテリアル工学コース) | (28) | |
| 理学部 | 数学科 | 37 | 工学部 | 情報エレクトロニクス学科 | 142 | |
| | 物理学科 | 25 | | (情報理工学コース) | (40) | |
| | 化学科 | 52 | | (電気電子工学コース) | (31) | |
| | 生物科学科 | 65 | | (生態情報コース) | (26) | |
| | (生物学専修分野) | (30) | | (メディアネットワークコース) | (24) | |
| | (高分子機能学専修分野) | (35) | | (電気制御システムコース) | (21) | |
| 地球惑星科学科 | 50 | 機械知能工学科 | | 90 | | |
| 医学部 | 医学科 | 5 | | (機械情報コース) | (45) | |
| | 保健学科 | 保健学科 | | 9 | (機械システムコース) | (45) |
| | | (看護学専攻) | | (3) | 環境社会工学科 | 157 |
| | | (放射線技術科学専攻) | (2) | (社会基盤学コース) | (30) | |
| | | (検査技術科学専攻) | (2) | (国土政策学コース) | (30) | |
| | | (理学療法学専攻) | (1) | (建築都市コース) | (34) | |
| (作業療法学専攻) | (1) | (環境工学コース) | (37) | | | |
| 歯学部 | 歯学科 | 10 | (資源循環システムコース) | (26) | | |
| 薬学部 | 薬科学科 | 35 | | 生物資源科学科 | 27 | |
| | 薬学科 | 21 | | 応用生命科学科 | 23 | |
| 獣医学部 | 共同獣医学課程 | 5 | 農学部 | 生物機能化学科 | 26 | |
| | 海洋生物科学科 | 10 | | 森林科学科 | 27 | |
| 水産学部 | 海洋資源科学科 | 10 | | 畜産科学科 | 17 | |
| | 増殖生命科学科 | 10 | | 生物環境工学科 | 23 | |
| | 資源機能化学科 | 10 | | 農業経済学科 | 19 | |

※保健学科は学科定員が9名であり、専攻別定員は目安である。 ※医学部医学科は令和4年度入試から定員10名になります。

16

学部・学科移行の基本的な流れ

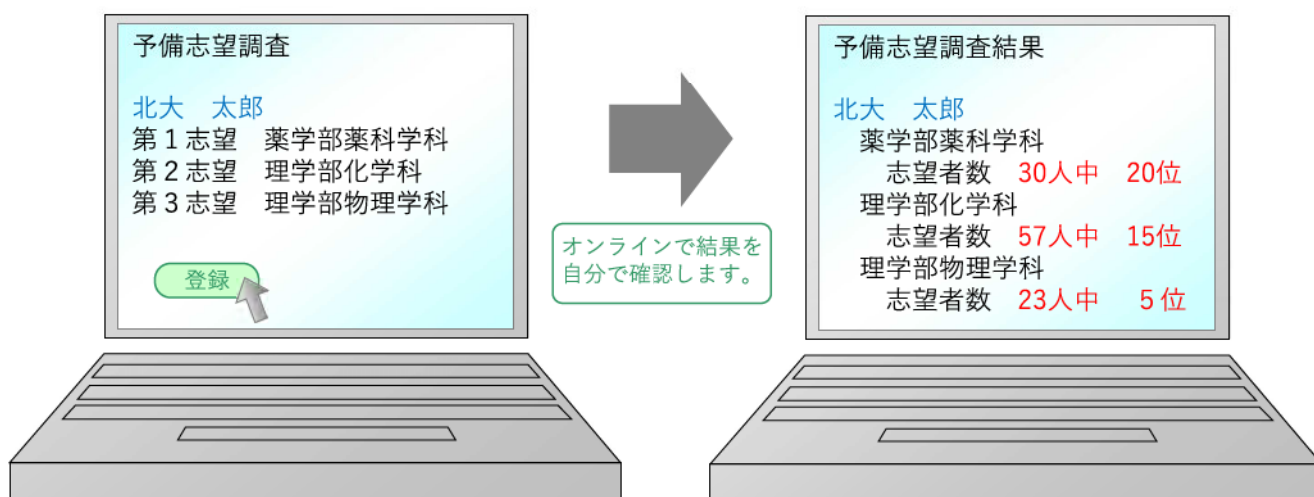


17

志望調査



9月下旬から10月上旬と3月に行われる。
それぞれの時点での各学部・学科ごとの志望者数を調査し、その結果を公表。
自分の成績順位を確認することができる。



※ 画面レイアウトはあくまでも一例です。

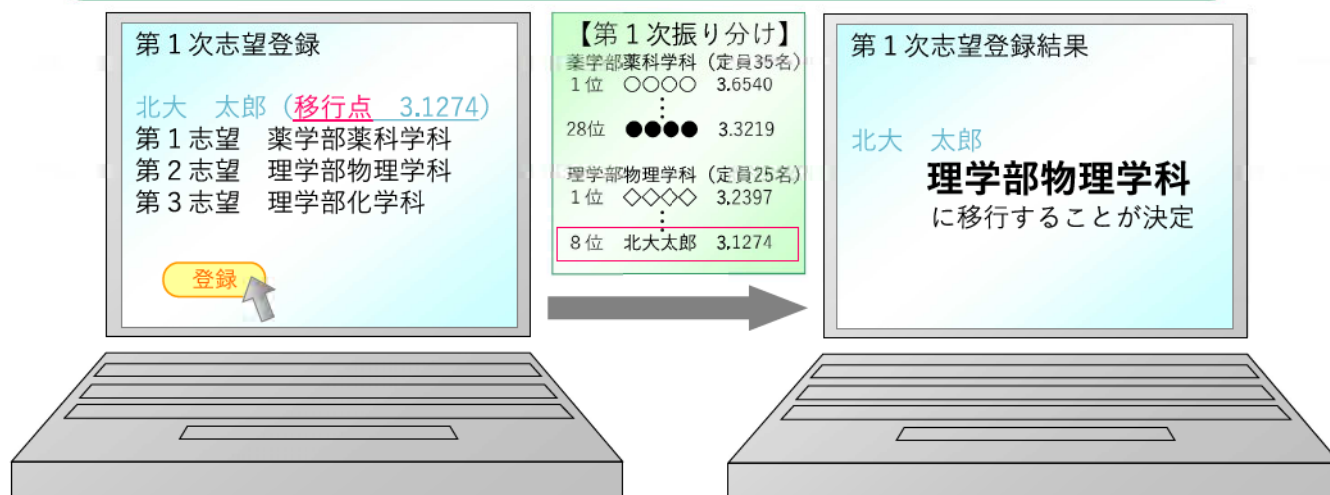
18

志望登録



移行先は、1年次に修得した単位の成績評価に基づいて算出される「移行点」が上位の学生から順番に決定。

第1志望の移行先が定員に達した場合は、第2志望、第3志望の順に決定。第1次志望登録に基づき、各移行先の定員の約8割が決定。この段階で決定しなかった学生を対象に第2回志望調査、第2次志望登録と続く。



※ 移行点の点数及び画面レイアウトはあくまでも一例です。

令和元年度学部・学科移行結果(概要)



- 進級可能者はほとんどが学部・学科等へ移行
- 他系移行 文系→理系学部が11名, 理系→文系学部が10名
- 第1次振り分け移行決定者における第1志望の割合は83.1%

総合入試入学者にかかる学部学科等移行者数 (令和元年度)

| 入試区分 | 在籍者数 (過年度学生含む) | 進級要件単位 充足者数 | 第1次 振り分け結果 | 第2次 振り分け結果 | 補充 振り分け | 進級・移行 決定者数 |
|------|-------------------|----------------|---------------|---------------|------------|---------------|
| 文系 | 107 | 102 | 88 [11] | 12 | 2 | 102 [11] |
| 理系 | 1,091 | 1,049 | 854 [10] | 181 | 9 | 1,044 [10] |
| 計 | 1,198 | 1,151 | 942 [21] | 193 | 11 | 1,146 [21] |

注) [] 内は、他系への移行者で内数

令和 4 (2022) 年度北海道大学国際総合入試基本方針

| | |
|---------|---|
| 趣旨・目的 | 「北海道大学近未来戦略150」に掲げるグローバル人材の育成のため、国や地域、学問分野を越えたボーダーレスなグローバル社会を生き抜き、リードする意欲と資質を持った人材を人物本位で選抜することを目的とする。 |
| 募集人員 | <ol style="list-style-type: none"> 総合入試文系 5名 総合入試理系 10名 入学者選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（総合入試）の募集人員に加える。 |
| 求める学生像 | 大学における学修に必要な基礎学力を有するとともに、自らの探究心に基づいて設定した課題を解決することを志向し、常に創造的に行動することのできる学生を求める。例えば、国境を越えた地球環境問題や食糧資源問題等について探究し、異文化を理解・尊重しながら巧みなコミュニケーション能力を発揮してボーダーレスに活躍する意欲を持つ学生を求める。 |
| 出願資格・要件 | <ol style="list-style-type: none"> 出願資格 次の各号のいずれかに該当すること。 <ol style="list-style-type: none"> ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 4 (2022) 年 3 月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和 4 (2022) 年 3 月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目の一に該当する者及び令和 4 (2022) 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 <ul style="list-style-type: none"> ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。） カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの及び令和 4 (2022) 年 3 月 31 日までに18歳に達するもの 2. 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること。 <ol style="list-style-type: none"> ① 令和 4 (2022) 年 4 月 1 日現在において、出願資格取得後 2 年以内であること。 (令和 2 (2020) 年 4 月 1 日から令和 4 (2022) 年 3 月 31 日までの間に出願資格を取得していること。) ② 国際バカロレア (IB) 資格証書 (DP フルディプロマ) の写し及び最終試験の成績評価証明書を提出できる者又は米国 College Board が実施する SAT Reasoning Test 及び SAT Subject Test の成績評価証明書を提出できる者 ただし、SAT Reasoning Test は、米国 ACT Inc. が実施する ACT (American College Testing) の成績評価証明書に替えることができる。 |

※令和4(2022)年1月に資格を取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する最終成績の予測スコアの証明書を提出すること。

③ IBの履修科目、SAT及びACTの受験科目について

a IBの履修科目について、以下のとおり指定する。

| 区分 | 対象 | 履修指定科目 |
|--------|-------------|---|
| 総合入試文系 | 日本語を母語とする者 | 英語A(SL/HL)又は英語B(SL/HL) ※① |
| | 日本語を母語としない者 | 日本語A(SL/HL)又は日本語B(HL) ※② |
| | 全員 | グループ3【個人と社会】の中から1科目(SL/HL)又はグループ5【数学】の中から1科目(SL/HL)ただし「応用と解釈SL」を除く。 |
| 総合入試理系 | 日本語を母語とする者 | 英語A(SL/HL)又は英語B(SL/HL) ※① |
| | 日本語を母語としない者 | 日本語A(SL/HL)又は日本語B(HL) ※② |
| | 全員 | グループ4【理科】の中から2科目(SL/HL)(うち1科目は物理、化学、生物のいずれかであること)及びグループ5【数学】の「解析とアプローチHL」 |

出願資格・要件

※① 当該科目を履修していない場合、以下に掲げるいずれかの成績証明書等の提出に替えることができる。

- (1)TOEFL-PBT (2)TOEFL-iBT (3)IELTS (4)TOEIC L&R (5)実用英語技能検定試験(日本・英検) (6)国連英検 (7)ケンブリッジ英検

※② 当該科目を履修していない場合、以下に掲げるいずれかの成績証明書等の提出に替えることができる。

- (1)日本語能力試験N1
 (2)独立行政法人日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」における「日本語」の得点(記述式を含む)が270点以上の成績通知書(写)

b SAT及びACTの受験科目について、以下のとおり指定する。 ※③

| 区分 | 受験指定科目 |
|--------|--|
| 総合入試文系 | <ul style="list-style-type: none"> SAT Reasoning Test 2科目(数学, 読解)又はACT 4科目(英語, 数学, 読解, 理科) SAT Subject Test 3科目以上(日本語を除く)【文学, アメリカ史, 世界史の中から1科目, 及び数学(level 2) 1科目を含む】 |

| | | | |
|------------|--|------------|---|
| 出願資格・要件 | <table border="1" data-bbox="481 188 1391 407"> <tr> <td data-bbox="481 188 619 407">総合入試 理系</td> <td data-bbox="619 188 1391 407"> <ul style="list-style-type: none"> ・ SAT Reasoning Test 2科目 (数学, 読解) 又は ACT 4科目 (英語, 数学, 読解, 理科) ・ SAT Subject Test 3科目以上 (日本語を除く) 【生物 (生態学又は機能分子学のいずれか), 化学, 物理の中から2科目, 及び数学 (level 2) 1科目を含む】 </td> </tr> </table> <p>※③ 日本語を母語としない者は, 以下に掲げるいずれかの成績証明書等を提出すること。</p> <p>(1) 日本語能力試験 N1</p> <p>(2) 独立行政法人日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」における「日本語」の得点 (記述式を含む) が270点以上の成績通知書 (写)</p> | 総合入試 理系 | <ul style="list-style-type: none"> ・ SAT Reasoning Test 2科目 (数学, 読解) 又は ACT 4科目 (英語, 数学, 読解, 理科) ・ SAT Subject Test 3科目以上 (日本語を除く) 【生物 (生態学又は機能分子学のいずれか), 化学, 物理の中から2科目, 及び数学 (level 2) 1科目を含む】 |
| 総合入試 理系 | <ul style="list-style-type: none"> ・ SAT Reasoning Test 2科目 (数学, 読解) 又は ACT 4科目 (英語, 数学, 読解, 理科) ・ SAT Subject Test 3科目以上 (日本語を除く) 【生物 (生態学又は機能分子学のいずれか), 化学, 物理の中から2科目, 及び数学 (level 2) 1科目を含む】 | | |
| 選 抜 方 法 | <p>成績評価証明書 (IB 若しくは SAT 又は ACT), 調査書, 志望理由書, 自己推薦書等の出願書類並びに面接の結果を総合して合格者を決定する。</p> <p>1. 第1次選考 成績評価証明書, 調査書, 志望理由書, 自己推薦書等に基づき選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次選考に合格した者に対して, 面接を行い, IB 若しくは SAT 又は ACT の成績評価を含めて総合的に判定する。 ・ 面接は出願書類 (IB 課題論文 EE 若しくは本学が課するテーマによる課題論文 (SAT 又は ACT の場合) を含む) の内容に基づき実施する。※ ・ 面接実施の際, 必要に応じ, 口頭試問等による学力の確認, 日本語能力又は英語能力の確認を行う場合がある。 <p>※SAT 又は ACT の受験者は, 学習している科目の中から自ら興味をもった課題について調査・研究を行い, 論文としてまとめて提出すること。</p> | | |

平成 30(2018)年

医師・歯科医師・薬剤師統計の概況

目 次

| | 頁 |
|--|----|
| 統計の概要 | 1 |
| 結果の概要 | 3 |
| 1 医 師 | |
| (1) 施設・業務の種別にみた医師数 | 4 |
| (2) 医療施設に従事する医師数 | |
| 1) 性・年齢階級別にみた医師数 | 5 |
| 2) 施設の種別にみた医師数 | 6 |
| 3) 診療科別にみた医師数 | 8 |
| 4) 取得している広告可能な医師の専門性に関する資格名 及び麻酔科の標榜資格(複数回答)別にみた医師数 | 12 |
| 5) 都道府県(従業地)別にみた人口 10 万対医師数 | 14 |
| 2 歯科医師 | |
| (1) 施設・業務の種別にみた歯科医師数 | 16 |
| (2) 医療施設に従事する歯科医師数 | |
| 1) 性・年齢階級別にみた歯科医師数 | 17 |
| 2) 施設の種別にみた歯科医師数 | 18 |
| 3) 診療科別にみた歯科医師数 | 20 |
| 4) 取得している広告可能な歯科医師の専門性に関する資格名(複数回答)別 にみた歯科医師数 | 21 |
| 5) 都道府県(従業地)別にみた人口 10 万対歯科医師数 | 21 |
| 3 薬 剤 師 | |
| (1) 施設・業務の種別にみた薬剤師数 | 22 |
| (2) 薬局・医療施設に従事する薬剤師数 | |
| 1) 施設の種別にみた薬剤師数 | 23 |
| 2) 性・年齢階級別にみた薬剤師数 | 24 |
| 3) 都道府県(従業地)別にみた人口 10 万対薬剤師数 | 25 |
| 統計表 | 26 |

平成 30 年医師・歯科医師・薬剤師統計の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。
アドレス (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/33-20.html>)

統 計 表

| | 頁 |
|---|----|
| 統計表1 医師・歯科医師・薬剤師数、構成割合及び平均年齢、性・年齢階級、施設・業務の種別 … | 27 |
| 統計表2 医師・歯科医師・薬剤師数の年次推移、施設の種別・性別 …………… | 31 |
| 統計表3 医師・歯科医師・薬剤師数の年次推移、年齢階級、性別 …………… | 32 |
| 統計表4 医療施設従事医師・歯科医師数、薬局・医療施設従事薬剤師数及び構成割合の 年次推移、年齢階級、性別 …………… | 33 |
| 統計表5 医療施設従事医師・歯科医師数及び薬局・医療施設従事薬剤師数の年次推移、 施設の種別、年齢階級、性別 …………… | 34 |
| 統計表6 医療施設従事医師・歯科医師数及び構成割合、主たる診療科、年齢階級別 …………… | 35 |
| 統計表7 医師数、構成割合及び人口 10 万対医師数の年次推移、施設・業務の種別 …………… | 36 |
| 統計表8 歯科医師数、構成割合及び人口 10 万対歯科医師数の年次推移、施設・業務の種別 …… | 37 |
| 統計表9 医師・歯科医師・薬剤師の平均年齢の年次推移、施設・業務の種別 …………… | 38 |
| 統計表10 医療施設従事医師数、主たる診療科、施設の種別、性別 …………… | 39 |
| 統計表11 医療施設従事医師数の年次推移、年齢階級、主たる診療科別 …………… | 40 |
| 統計表12 医療施設従事歯科医師数の年次比較、主たる診療科、施設の種別、性別 …………… | 40 |
| 統計表13 医療施設従事歯科医師数の年次推移、診療科(複数回答)別 …………… | 40 |
| 統計表14 医師・歯科医師・薬剤師数、従業地による都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)、 業務の種別、性別 …………… | 41 |
| 統計表15 人口 10 万対医師・歯科医師・薬剤師数、従業地による都道府県—指定都市・特別区・ 中核市(再掲)、業務の種別、性別 …………… | 43 |
| 統計表16 人口 10 万対医療施設従事医師・歯科医師数及び薬局・医療施設従事薬剤師数の 年次推移、従業地による都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)別 …………… | 45 |
| 統計表17 人口 10 万対医療施設従事医師数、従業地による都道府県、主たる診療科 (小児科・産婦人科・産科・外科)・専門性資格(小児科専門医・産婦人科専門医・ 外科の専門医)別 …………… | 47 |
| 付 表 人口 10 万対比率の算出に用いた人口 …………… | 48 |
| 参考1 施設の種別・年齢別にみた医師数・歯科医師数・薬剤師数 …………… | 49 |
| 参考2 医療施設従事医師数の年次推移、主たる診療科別 …………… | 50 |
| 参考3 医療施設従事医師数の年次推移、診療科(複数回答)別 …………… | 51 |
| 参考4 臨床研修医の2年後の動き …………… | 52 |

統計表 15 人口10万对医師・歯科医師・薬剤師数，従業地による
都道府県－指定都市・特別区・中核市（再掲）、業務の種別、性別（2－1）

（単位：人）

平成30(2018)年12月31日現在

| | 医 師 | | | | 歯 科 医 師 | | | | 薬 剤 師 | | | |
|-------|-------|----------------------|-------|------|---------|----------------------|------|------|-------|-------------------------|------|-------|
| | 総数 | (再掲) 医療施設 の従事者 | 男 | 女 | 総数 | (再掲) 医療施設 の従事者 | 男 | 女 | 総数 | (再掲) 薬局・医療施設 の従事者 | 男 | 女 |
| 全 国 | 258.8 | 246.7 | 192.7 | 54.0 | 83.0 | 80.5 | 61.3 | 19.2 | 246.2 | 190.1 | 65.4 | 124.7 |
| 北 海 道 | 254.0 | 243.1 | 204.1 | 39.0 | 83.6 | 80.6 | 66.7 | 13.9 | 219.1 | 184.3 | 92.4 | 91.9 |
| 青 森 | 214.7 | 203.3 | 168.5 | 34.8 | 58.6 | 55.6 | 43.2 | 12.4 | 182.6 | 153.0 | 72.0 | 81.1 |
| 岩 手 | 215.4 | 201.7 | 168.9 | 32.8 | 81.0 | 76.6 | 58.9 | 17.6 | 195.1 | 163.4 | 71.4 | 92.0 |
| 宮 城 | 250.1 | 238.4 | 194.2 | 44.2 | 81.7 | 78.1 | 57.6 | 20.5 | 235.5 | 188.6 | 75.2 | 113.4 |
| 秋 田 | 246.0 | 234.0 | 188.6 | 45.5 | 65.1 | 63.8 | 52.4 | 11.4 | 209.6 | 179.6 | 77.9 | 101.7 |
| 山 形 | 239.8 | 226.0 | 186.6 | 39.4 | 62.7 | 61.2 | 47.9 | 13.3 | 193.5 | 160.1 | 76.1 | 84.0 |
| 福 島 | 214.2 | 204.9 | 171.8 | 33.0 | 74.5 | 71.3 | 57.7 | 13.6 | 197.0 | 161.9 | 75.1 | 86.8 |
| 茨 城 | 197.5 | 187.5 | 145.8 | 41.7 | 67.9 | 67.0 | 51.9 | 15.1 | 229.5 | 172.9 | 64.0 | 108.9 |
| 栃 木 | 236.0 | 226.1 | 177.4 | 48.7 | 69.6 | 68.4 | 52.3 | 16.2 | 213.8 | 172.1 | 69.0 | 103.1 |
| 群 馬 | 238.4 | 228.3 | 182.5 | 45.9 | 72.4 | 71.3 | 54.9 | 16.3 | 203.0 | 166.3 | 66.5 | 99.8 |
| 埼 玉 | 176.4 | 169.8 | 133.5 | 36.2 | 73.1 | 71.9 | 54.7 | 17.2 | 215.5 | 175.6 | 58.6 | 116.9 |
| 千 葉 | 201.2 | 194.1 | 152.3 | 41.8 | 82.4 | 81.1 | 60.3 | 20.7 | 228.3 | 186.9 | 57.0 | 129.9 |
| 東 京 | 328.4 | 307.5 | 214.8 | 92.7 | 120.1 | 115.9 | 80.0 | 35.9 | 365.8 | 226.3 | 60.6 | 165.7 |
| 神 奈 川 | 220.7 | 212.4 | 158.6 | 53.8 | 80.3 | 78.1 | 57.7 | 20.4 | 249.7 | 202.9 | 54.7 | 148.2 |
| 新 潟 | 210.5 | 197.9 | 162.2 | 35.7 | 91.7 | 86.4 | 63.0 | 23.4 | 199.3 | 167.2 | 71.3 | 95.9 |
| 富 山 | 267.4 | 254.4 | 205.2 | 49.1 | 62.2 | 59.9 | 46.7 | 13.2 | 266.1 | 166.5 | 63.0 | 103.4 |
| 石 川 | 300.1 | 284.1 | 230.7 | 53.4 | 62.1 | 59.6 | 48.6 | 10.9 | 238.7 | 181.5 | 65.9 | 115.6 |
| 福 井 | 265.8 | 252.6 | 203.5 | 49.1 | 57.5 | 57.0 | 45.1 | 11.9 | 189.4 | 152.2 | 63.3 | 88.9 |
| 山 梨 | 246.8 | 239.2 | 194.2 | 44.9 | 74.4 | 73.6 | 56.9 | 16.6 | 220.0 | 181.4 | 75.0 | 106.4 |
| 長 野 | 244.1 | 233.1 | 190.0 | 43.1 | 80.5 | 77.1 | 60.5 | 16.6 | 217.8 | 182.8 | 73.1 | 109.7 |
| 岐 阜 | 221.1 | 215.1 | 174.9 | 40.2 | 85.4 | 83.0 | 66.0 | 17.0 | 196.3 | 163.1 | 73.6 | 89.5 |
| 静 岡 | 217.2 | 210.2 | 172.9 | 37.2 | 66.8 | 65.6 | 52.4 | 13.2 | 227.4 | 177.8 | 76.3 | 101.4 |
| 愛 知 | 224.1 | 212.9 | 164.1 | 48.8 | 76.1 | 74.1 | 59.1 | 15.0 | 204.9 | 168.3 | 66.5 | 101.8 |
| 三 重 | 232.2 | 223.4 | 184.0 | 39.4 | 65.7 | 64.7 | 52.9 | 11.8 | 196.0 | 167.4 | 70.0 | 97.4 |
| 滋 賀 | 239.8 | 227.6 | 182.5 | 45.1 | 56.2 | 54.9 | 43.6 | 11.3 | 229.8 | 182.0 | 63.0 | 119.0 |
| 京 都 | 341.5 | 323.3 | 248.6 | 74.8 | 74.5 | 72.9 | 57.2 | 15.7 | 251.6 | 181.5 | 55.0 | 126.4 |
| 大 阪 | 289.9 | 277.0 | 213.1 | 63.9 | 89.2 | 86.7 | 66.6 | 20.1 | 298.2 | 206.9 | 56.2 | 150.7 |
| 兵 庫 | 263.7 | 252.2 | 198.3 | 53.8 | 73.1 | 71.6 | 57.9 | 13.7 | 274.8 | 223.2 | 52.0 | 171.2 |
| 奈 良 | 267.5 | 258.5 | 207.1 | 51.4 | 68.0 | 66.6 | 54.7 | 11.9 | 211.4 | 168.9 | 44.8 | 124.0 |
| 和 歌 山 | 311.8 | 302.1 | 243.4 | 58.7 | 77.0 | 75.2 | 62.5 | 12.7 | 248.8 | 187.6 | 61.3 | 126.3 |
| 鳥 取 | 326.4 | 304.8 | 245.9 | 58.9 | 63.8 | 60.9 | 49.1 | 11.8 | 214.3 | 181.4 | 69.8 | 111.6 |
| 島 根 | 301.5 | 286.3 | 225.0 | 61.3 | 59.0 | 56.2 | 44.6 | 11.6 | 202.5 | 173.8 | 85.4 | 88.4 |
| 岡 山 | 320.8 | 308.2 | 242.7 | 65.4 | 93.7 | 90.9 | 65.3 | 25.6 | 219.5 | 182.3 | 64.0 | 118.3 |
| 広 島 | 270.1 | 258.6 | 206.8 | 51.8 | 91.5 | 89.6 | 66.6 | 23.0 | 256.6 | 213.1 | 66.2 | 146.9 |
| 山 口 | 268.2 | 252.9 | 209.4 | 43.5 | 71.2 | 70.1 | 56.8 | 13.3 | 250.6 | 206.9 | 80.1 | 126.7 |
| 徳 島 | 346.7 | 329.5 | 248.5 | 81.0 | 114.3 | 107.6 | 77.4 | 30.2 | 363.3 | 233.8 | 65.6 | 168.2 |
| 香 川 | 296.5 | 282.5 | 222.9 | 59.7 | 75.3 | 73.5 | 56.5 | 16.9 | 257.6 | 206.1 | 73.8 | 132.3 |
| 愛 媛 | 279.1 | 269.2 | 220.3 | 49.0 | 69.0 | 67.4 | 55.3 | 12.1 | 219.7 | 182.3 | 68.0 | 114.3 |
| 高 知 | 326.9 | 316.9 | 249.2 | 67.7 | 74.8 | 72.0 | 57.9 | 14.0 | 247.0 | 205.2 | 68.1 | 137.1 |
| 福 岡 | 319.4 | 302.6 | 241.0 | 61.6 | 109.5 | 103.5 | 77.4 | 26.1 | 241.0 | 205.7 | 72.4 | 133.3 |
| 佐 賀 | 291.0 | 280.0 | 220.4 | 59.6 | 72.3 | 70.6 | 58.2 | 12.3 | 237.0 | 200.2 | 89.5 | 110.7 |
| 長 崎 | 320.7 | 306.3 | 248.1 | 58.2 | 88.9 | 85.3 | 66.7 | 18.6 | 218.1 | 183.5 | 78.0 | 105.5 |
| 熊 本 | 302.2 | 289.8 | 236.7 | 53.0 | 76.8 | 74.4 | 58.4 | 16.1 | 220.8 | 183.7 | 71.4 | 112.3 |
| 大 分 | 287.0 | 275.2 | 223.0 | 52.2 | 65.9 | 64.5 | 54.6 | 9.9 | 195.5 | 171.0 | 68.3 | 102.7 |
| 宮 崎 | 259.9 | 246.6 | 200.6 | 46.1 | 68.2 | 65.7 | 53.2 | 12.5 | 202.9 | 168.6 | 73.4 | 95.3 |
| 鹿 児 島 | 281.6 | 270.8 | 222.8 | 48.0 | 82.0 | 78.9 | 61.0 | 17.8 | 197.1 | 173.2 | 76.8 | 96.4 |
| 沖 縄 | 247.9 | 240.7 | 190.0 | 50.7 | 59.6 | 58.0 | 44.9 | 13.1 | 156.0 | 139.4 | 53.5 | 86.0 |

資料 4

① 書類等の題名

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料 4

② 出典

平成 31 年 3 月 22 日 医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会 (第 30 回)

③ 引用範囲

別添資料 3 「都道府県別診療科ごとの将来必要な医師数の見通しについて」(資料全体)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10801000/000491598.pdf>

診療参加型コア科臨床実習説明会参加病院 様

北海道大学医学部医学科では、教育効果を検証し、今後の教育課程等の改善に役立てることを目的として、卒業生の就職先における状況等を調査することといたしました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、以下の設問にご回答くださいますようお願いいたします。

なお、本アンケートで頂いた回答は、上記の目的にのみ使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

平成 30 年 7 月 北海道大学医学部

※ 団体としてではなく、個人としての回答で問題ございません。

※ 回答可能な設問のみの回答で問題ございません。

① 貴院の概要について

問1 貴院の所在地について、市町村名を記入して下さい

問2 貴院の正規職員数について教えてください

1. 30人未満 2. 30～99人 3. 100～299人 4. 300～499人 5. 500人以上

問3 貴院の診療科について該当するものをすべて教えてください

- 1 内科 2 呼吸器内科 3 循環器内科 4 消化器内科(胃腸内科) 5 腎臓内科
6 神経内科 7 糖尿病内科(代謝内科) 8 血液内科 9 皮膚科 10 アレルギー科
11 リウマチ科 12 感染症内科 13 小児科 14 精神科 15 心療内科
16 外科 17 呼吸器外科 18 心臓血管外科 19 乳腺外科 20 気管食道外科
21 消化器外科(胃腸外科) 22 泌尿器科 23 肛門外科 24 脳神経外科 25 整形外科
26 形成外科 27 美容外科 28 眼科 29 耳鼻いんこう科 30 小児外科
31 産婦人科 32 産科 33 婦人科 34 リハビリテーション科 35 放射線科
36 麻酔科 37 病理診断科 38 臨床検査科 39 救急科 40 臨床研修医
41 全科 42 その他()

② 北海道大学医学部医学科の卒業生の採用状況について

問4 貴院には現在北海道大学医学部医学科の卒業生は何人程度在職していますか？

1. いない 2. 10人未満 3. 10～29人 4. 30人以上

(「1. いない」と回答した方は、「問8」にお進みください。)

問5 貴院に在職する北海道大学医学部医学科卒業生の所属診療科について該当するものをすべて教えてください

- 1 内科 2 呼吸器内科 3 循環器内科 4 消化器内科(胃腸内科) 5 腎臓内科
6 神経内科 7 糖尿病内科(代謝内科) 8 血液内科 9 皮膚科 10 アレルギー科
11 リウマチ科 12 感染症内科 13 小児科 14 精神科 15 心療内科
16 外科 17 呼吸器外科 18 心臓血管外科 19 乳腺外科 20 気管食道外科
21 消化器外科(胃腸外科) 22 泌尿器科 23 肛門外科 24 脳神経外科 25 整形外科
26 形成外科 27 美容外科 28 眼科 29 耳鼻いんこう科 30 小児外科
31 産婦人科 32 産科 33 婦人科 34 リハビリテーション科 35 放射線科
36 麻酔科 37 病理診断科 38 臨床検査科 39 救急科 40 臨床研修医
41 全科 42 その他()

裏面に続く

③ 北海道大学医学部医学科の卒業生の能力について

問6 北海道大学医学部医学科の卒業生の以下の能力は、総じてどのように感じますか？

| | 1. 大変優れている | 2. やや優れている | 3. 普通 | 4. やや劣っている | 5. 大変劣っている |
|------------------------|------------|------------|-------|------------|------------|
| A. 専門分野に関する知識..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| B. 発表・プレゼンテーション能力..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C. ディスカッション能力..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| D. コミュニケーション能力..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| E. 外国語能力..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| F. リーダーシップ..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| G. 集団の中での協調性..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| H. 情報収集・分析能力..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| I. 企画、アイデア等の創造力..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| J. 医師としての倫理観..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| K. 科学的探究心..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| L. 自律的学習能力..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問7 北海道大学医学部医学科の卒業生に対して、在学中にもっと身につけておいて欲しい知識・能力などありましたら、記入願います

④ 北海道大学医学部医学科の教育に対する要望について

問8 北海道大学医学部医学科の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います

ご協力ありがとうございました。この調査票は、お帰りの際本学部職員にお渡しいただくか8月10日頃までに返信用封筒によりご返送いただきますようお願いいたします。

北海道大学医学部医学科卒業生に関するアンケート(対象:学外病院) 集計結果

① 貴院の概要について

問1 貴院の所在地について、市町村名を記入して下さい

| | |
|-----|----|
| 札幌市 | 12 |
| 函館市 | 2 |
| 小樽市 | 1 |
| 旭川市 | 1 |
| 室蘭市 | 2 |
| 網走市 | 1 |
| 千歳市 | 1 |
| 砂川市 | 1 |
| 恵庭市 | 1 |
| 合計 | 22 |

問2 貴院の正規職員数について教えてください

| | |
|----------|----|
| 30人未満 | 0 |
| 30～99人 | 1 |
| 100～299人 | 4 |
| 300～499人 | 5 |
| 500人以上 | 12 |
| 合計 | 22 |

問3 貴院の診療科について該当するものをすべて教えてください

| | |
|---------------|-----|
| 内科 | 14 |
| 呼吸器内科 | 12 |
| 循環器内科 | 15 |
| 消化器内科(胃腸内科) | 16 |
| 腎臓内科 | 5 |
| 神経内科 | 2 |
| 糖尿病内科(代謝内科) | 10 |
| 血液内科 | 6 |
| 皮膚科 | 12 |
| アレルギー科 | 1 |
| リウマチ科 | 5 |
| 感染症内科 | 1 |
| 小児科 | 13 |
| 精神科 | 12 |
| 心療内科 | 1 |
| 外科 | 16 |
| 呼吸器外科 | 10 |
| 心臓血管外科 | 9 |
| 乳腺外科 | 11 |
| 気管食道外科 | 2 |
| 消化器外科(胃腸外科) | 10 |
| 泌尿器科 | 13 |
| 肛門外科 | 3 |
| 脳神経外科 | 8 |
| 整形外科 | 14 |
| 形成外科 | 10 |
| 美容外科 | 1 |
| 眼科 | 11 |
| 耳鼻いんこう科 | 12 |
| 小児外科 | 2 |
| 産婦人科 | 12 |
| 産科 | 2 |
| 婦人科 | 3 |
| リハビリテーション科 | 12 |
| 放射線科 | 15 |
| 麻酔科 | 15 |
| 病理診断科 | 12 |
| 床検査科 | 5 |
| 救急科 | 4 |
| 臨床研修医 | 12 |
| 全科 | 0 |
| その他 | 4 |
| (生殖医療) | |
| (肝臓内科、人口透析内科) | |
| (腫瘍内科) | |
| (歯科口腔外科) | |
| 合計 | 353 |

② 北海道大学医学部医学科の卒業生の採用状況について

問4 貴院には現在北海道大学医学部医学科の卒業生は何人程度在職していますか？

| | |
|--------|----|
| いない | 0 |
| 10人未満 | 9 |
| 10～29人 | 9 |
| 30人以上 | 3 |
| 無回答 | 1 |
| 合計 | 22 |

(「1. いない」と回答した方は、「問8」にお進みください)

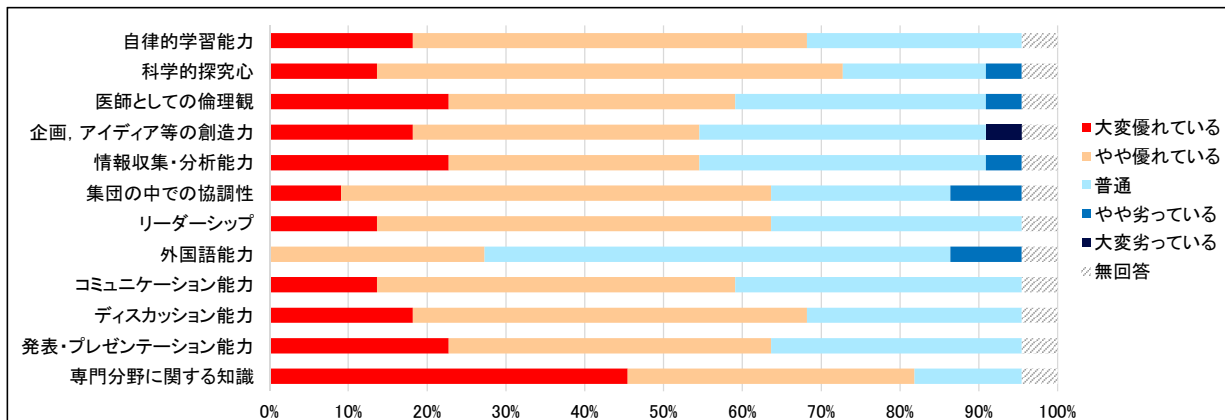
問5 貴院に在職する北海道大学医学部医学科卒業生の所属診療科について該当するものをすべて教えてください

| | |
|-------------|-----|
| 内科 | 9 |
| 呼吸器内科 | 6 |
| 循環器内科 | 6 |
| 消化器内科(胃腸内科) | 7 |
| 腎臓内科 | 3 |
| 神経内科 | 1 |
| 糖尿病内科(代謝内科) | 4 |
| 血液内科 | 3 |
| 皮膚科 | 3 |
| アレルギー科 | 0 |
| リウマチ科 | 3 |
| 感染症内科 | 0 |
| 小児科 | 9 |
| 精神科 | 8 |
| 心療内科 | 1 |
| 外科 | 15 |
| 呼吸器外科 | 6 |
| 心臓血管外科 | 5 |
| 乳腺外科 | 7 |
| 気管食道外科 | 1 |
| 消化器外科(胃腸外科) | 6 |
| 泌尿器科 | 8 |
| 肛門外科 | 1 |
| 脳神経外科 | 4 |
| 整形外科 | 9 |
| 形成外科 | 8 |
| 美容外科 | 1 |
| 眼科 | 2 |
| 耳鼻いんこう科 | 7 |
| 小児外科 | 1 |
| 産婦人科 | 6 |
| 産科 | 1 |
| 婦人科 | 1 |
| リハビリテーション科 | 3 |
| 放射線科 | 9 |
| 麻酔科 | 10 |
| 病理診断科 | 7 |
| 床検査科 | 0 |
| 救急科 | 3 |
| 臨床研修医 | 10 |
| 全科 | 0 |
| その他 | 1 |
| (歯科口腔外科) | |
| 合計 | 195 |

③ 北海道大学医学部医学科の卒業生の能力について

問6 北海道大学医学部医学科の卒業生の以下の能力は、総じてどのように感じますか？

| | 大変優れている | やや優れている | 普通 | やや劣っている | 大変劣っている | 無回答 | 合計 |
|----------------|---------|---------|----|---------|---------|-----|----|
| 専門分野に関する知識 | 10 | 8 | 3 | 0 | 0 | 1 | 22 |
| 発表・プレゼンテーション能力 | 5 | 9 | 7 | 0 | 0 | 1 | 22 |
| ディスカッション能力 | 4 | 11 | 6 | 0 | 0 | 1 | 22 |
| コミュニケーション能力 | 3 | 10 | 8 | 0 | 0 | 1 | 22 |
| 外国語能力 | 0 | 6 | 13 | 2 | 0 | 1 | 22 |
| リーダーシップ | 3 | 11 | 7 | 0 | 0 | 1 | 22 |
| 集団の中での協調性 | 2 | 12 | 5 | 2 | 0 | 1 | 22 |
| 情報収集・分析能力 | 5 | 7 | 8 | 1 | 0 | 1 | 22 |
| 企画、アイデア等の創造力 | 4 | 8 | 8 | 0 | 1 | 1 | 22 |
| 医師としての倫理観 | 5 | 8 | 7 | 1 | 0 | 1 | 22 |
| 科学的探究心 | 3 | 13 | 4 | 1 | 0 | 1 | 22 |
| 自律的学習能力 | 4 | 11 | 6 | 0 | 0 | 1 | 22 |



問7 北海道大学医学部医学科の卒業生に対して、在学中にもっと身につけておいて欲しい知識・能力などありましたら、記入願います

- ・ リラベル・アーツ(教養)
- ・ 個人差が大きいところはあります。
- ・ 製菓会社のMRや患者さん、患者さんの家族などパワー関係が対等ではない方との接し方、基本的な倫理感。
- ・ 人前で話すテクニック(相手のレベルに合わせた話し方)
- ・ 地域医療の現状について学部レベルで知る機会があればいいと思います。

④ 北海道大学医学部医学科の教育に対する要望について

問8 北海道大学医学部医学科の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います

- ・ 昨年度、臨床実習にいらした学生さん達は、予想以上に優秀で頑張っていました。正直感心しました。今後も充実した教育が行われていくことを期待しています。
- ・ 5年目の学生の意欲、能力をみると自分自身が学生の時をより向上していると感じます。基本的な挨拶、マナーなど、社会人としての訓練はまだ不十分と感じました。
- ・ 医師としての倫理教育
- ・ 外から見るとやや閉鎖的、内向的な印象があります。もう少し開放的になっていただきたいです。
- ・ 今回のコア実習説明会について、教員の自己満足的なプレゼンであるため、内容に興味を持てなかった。昨年1年間の悪かったことをたくさん出して、今年を変えたいと話しかけた。昨年はトライアル感が強かったので、結果をもっと知りたかった。うつ病、脱落、出席しなかったなどなどあったはずですが。
- ・ 当院では特に外科分野(外科・消化器外科・整形外科)にて特に力を発揮していただいており、感謝しています。
- ・ 問7、8共通の回答(問6の評価について)
問6の評価は、卒業後初期研修が始まる前の評価です。卒業生は総じてとても優秀と思いますが、卒業時に評価内容に関しては優秀な方も居られますが、そういった教育が不十分な方もおられます。おそらく学生時代に評価項目を習得するカリキュラムが全体にいきわたってない印象です。評価項目は、まさに初期研修の教育項目でございます。初期研修医として指導させていただくと、とても一生懸命勉強されて成長いたします。昨年より始まった、スチューデントドクターにおきまして4週間の教育目標を初期研修医レベルということですので、現在は、しっかり学生レベルで指導させていただいております。また、学会等におきましても学生の発表の機会がございます。是非それなどを積極的に活用する様にご指導されてはいかげでしょうか。卒業までに評価目標達成のためのカリキュラムの充実を期待します。